笑心の郷 だより

令和４年 12 月

Happiness Eternity Happinity

〒707-0421
美作市川上 30-1
多機能型介護ホームえーる
TEL78－0555
多機能型介護ホームはーと
TEL78－0558
デイサービスセンターどりーむ
TEL78－0557

基本理念 ： あなたの笑顔と夢を　わたしの笑顔と夢で　心を込めて応援します

どりーむ

十一月十六日の午後から文化祭をしました。どりーむでは文化祭に向けて早くからどんな出し物をするか試行錯誤しましたが、皆さんで楽しんで頂けるものを考え「だるま落としゲーム」に決定しました。何度も何度も試作品を作り、箱を滑りやすくしたり、セロハンを貼ったり、だるまが落ちないように重りを入れて安定感があるものを作ったりと職員全員で知恵を出し合い大、中、小と大きさの違う三組の「だるま落とし」が完成しました。利用者の皆さんも三組のだるまを見て「三つもあるなぁ。可愛いなぁ。」と目でも楽しまれていましたが、いざゲームとなると皆さん真剣です。ご自分の好きなだるまを選び、だるまを落とさないよう力や叩き具合を考えながら楽しまれ「わぁ、難しいな。」と考え「もう一回してみるわ。」と皆さん夢中になっておられました。

十一月八日におやつ作りをしました。今回は「スイートポテト作り」です。ホットプレートを使って簡単に作れる物を考えました。皆さんエプロン、三角巾、手袋をしてそれぞれがさつま芋を潰して丸めます。個性あふれる丸い形が出来上がり、その丸い形を見て「これは大きいで。」と笑いもありました。ホットプレートで焼き色を付けると一段と美味しそうになり、皆さん出来上がり喜ばれ「簡単に出来たな。またしような。」と笑顔がたくさん見られ、私達職員も嬉しく思いました。

はーと

１１月１８・２４日の２日間、文化祭を行いました。はーとでは寸劇「遠山の金さん」に加え、職員による銭太鼓、ゲーム、紙芝居を行いました。銭太鼓では本番に向け猛練習をしていたのですが、いざ本番になると緊張し振り付けを忘れてしまい揃わないことが多かったですが、利用者の皆さんからは「頑張れ！」「できとるで」等温かい言葉や拍手を頂きました。今後はもっと出来るよう頑張りたい所存です。ゲームでは、障害物をよけながら前の方にボールをパスしゴールに入れるのですが、ボールが障害物に当たりなかなかゴールまでたどりつけず苦戦されていたりすぐゴールに入ったりと、皆さん盛り上がっており、笑顔がたくさん見られました。ゲームで盛り上がった後は、職員による紙芝居です。朗読が始まるとそれまでのざわざわしていたフロアが静まり返り、熱心に職員の朗等を楽しまれました。また、おやつでは数種類のおやつを用意しバイキングみたい好きな物をご自分で選んで頂きました。「あれにしようか」「これにしようかなぁ」と皆さん悩まれながら好きなおやつを取られていました。利用者の皆さんの笑顔が終始見られ、文化祭は盛大なまま終わることが出来ました。次の行事はクリスマス会です。プレゼントも用意していますので楽しみにしていて下さい。

寒さもだんだんと厳しくなってきます。残り少ない今年、風邪をひかないよう過ごしていきましょう。

えーる

えーるでは、十一月の行事として十一月十九日にドライブで日名倉山愛の鐘まで出かける事になりました。準備をして皆さんそれぞれの車に分かれて乗ります。車内では「出かけるのは久しぶり」と前の座席と座席の間から顔をのぞかせたり、他の車では「わぁ、あの紅葉がきれい。」とか、「あっかわいい花が咲いとる。何という花かなぁ。」など童心にかえってワクワク気分でした。思えばコロナの流行で制限があり、色々な事が出来なくなっています。コロナ前は、車から降りて散歩したり、ゲームや歌を唄ったり、一緒にお弁当を食べた事もあります。車いすを押させてもらっての散歩の途中で、地面がぬかるんでいてなかなか進めなかった私に乗っていた利用者さんが「代わったげようか？」と言われた事は、思い出すとつい吹き出してしまう私の忘れられない出来事です。今回は車の中だけでしたが、皆さん「私ら車に乗るなんて、えーるに来る時だけじゃけん、出かけるだけで嬉しいんよ。」とそれぞれに楽しんで頂けた様です。この日は利用者の皆さんお疲れだったのでしょう、早々にベッドで朝までぐっすり夢の中だったと聞きました。早くコロナが終息して制限が無くなった時にはまた楽しい思い出づくりが出来ますように、そう願って止みません。

今月のお食事

今回の献立は、白身竜田の野菜あんかけを主菜として、とろみの付いた野菜あんをかけることで魚も柔らかくなり、年配の方向けでとても喜ばれました。他におふくろ煮、ポテトサラダ、フルーツはミカンと白桃で手作りゼリーをしました。皆さんの美味しそうな顔を見てスタッフも笑顔になります。